

4月 定例山行 高岳山 (1040.7m) 山口県 阿東町 徳佐

4月22日(日) ☆天候 雨

参加者 16名 CL 小林 SL 宮木(一)

上別祖、円山、村田、熊野、幾久、佐々木、坂井、宮木(澄)
花岡、小寺、横地、滝、三重(成)、西本(会友)

コースタイム 県庁北口発 7:20→現地着(林道入り口) 9:40→登山口着 10:40→
桐ヶ峠着 11:30分→やじか浴山(ピーク)着 11:45→
麓に下山 13:05(昼食) 現地発 13:40→県庁北口帰着 16:30 解散

報 告

降雨率80%の予報にザックの中の雨具を確認して家を出た。重い空模様ではあるが、バスは街路樹の新緑に見送られて県庁北口を出発。中国自動車道を走り、鹿野ICから国道315号線、9号線を経て現地に着く。雨が降っている。バスは民家の脇の狭い道をおもむろに通過して、林道入り口の駐車地まで入ることができた。ここでバスに待機していただき「行けるところまで行ってみよう」ということで下車した。雨具に身をかためて傘をさして出発、ひたすら歩くこと50分、やっと登山口に着く。本番はこれからだ。「せっかくだから峠まで行こうよ」という前向きな声に誘われて、「桐ヶ峠」を目指すことにした。

登りに取り付いてすぐに沢を渡る。暫くは左手に溪流のせせらぎを聴きながら慎重に足を運ぶ。途中滑りそうなところや、痩せ道のトラバースもあったが、スミレやイカリソウの可憐な花が雨の登山路の無聊を慰めてくれ、高度を稼ぐことができた。野の花は雨の中にあっても美

しい。

11時30分、漸く分岐の「桐ヶ峠」に着く。高岳山までここから40分はかかるだろう。登ってもこの雨では眺望もだめ、腰を下ろすこともできない。すでに一部の人途中で下山しているし、さてどうしたものかと思案した。しかし「ついでにもう少し」という元気印のメンバーに押されて、また次のピークまで登ることにした。私たちは906mのやじか浴山まで足を延ばして、ここから往路を下山した。高岳山の頂上は諦めた。

このコースのプランを練るとき、登山口までの長丁場のアプローチをどう攻めるかに苦労した。終日の雨、クソ長い林道に苦戦した山ではあったが、仲間に支えられて、また一つ思い出の山旅ができたことに感謝している。煙った車窓に名残りの桜を見ながら、津和野、六日市経由で帰広した。

(記 小林 愷子)